

防災のための大湊 地域資源発掘プロジェクト

メンバー数：3名 活動場所：伊勢市
実施主体：大湊町未来づくり委員会
担当教員：近藤 玲介（教育開発センター）
活動年度：H28, H29, H30

- ・大湊地区における干潟調査、大湊振興会との打ち合わせ(予定)
- ・大湊地区における干潟調査(予定)
- ・大湊地区における番組作成の取材、ドローン撮影
- ・大湊地区におけるまち歩き調査、ドローン撮影
- ・大湊地区における地域防災訓練への参画
- ・新規学生への勧誘プレゼン、振興会長との打ち合わせ
- ・新規学生への勧誘と今後に関する打ち合わせ
- ・大湊地区におけるまち歩き
- ・今後に関する打ち合わせ

2018

6 8 9 10 11 12 1 2 3

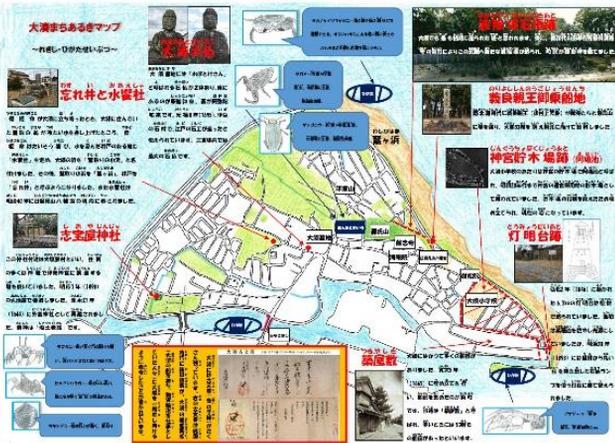
<今年度の活動を振り返って(成果と課題)>

本活動は伊勢市大湊地区の歴史文化や自然環境を再発見するとともに、これらの地域資源を最終的に防災資源として活用し地域に提示することを目的として、平成28年度から継続的に活動しています。本活動では、大湊町振興会を拠点としながら皇學館大学、三重大学などの学生が連携し、各種専門性を活かしてフィールドワークを通して大湊の個性を知り、学生という立場から学び、考え大湊地区の方々に還元し、地域の防災力向上に向けた活動を目指しています。

大湊は地域住民の方の大湊に対する思いが強いため、地域住民自身が地域を知り愛着を持つことでさらに防災意識があがるのではないかと、という他とは違ったアプローチが効果的と考えられます。それらの一歩として参加学生各自がまず防災を知ろうということで、防災セミナーに参加したり、大学生TV局兼務のメンバーが、このCLLをきっかけに防災に関する番組を作成しました。今後、昨年度以降継続して作成している防災情報と大湊の地域資源を統合したマップと、現在構成などを企画中で大湊のPV動画を、大湊振興会のHPに掲載するため準備をしています。また、地域の子どもたち向けに大学生だからこそできる地域資源を使ったイベントなどを開催し、子どもたちとともに学びながら、大湊のことを更に知っていきたくです。大湊を取り囲む干潟の生態調査結果なども含め、総合的・多角的に地域資源を見出す活動を続け、地域の方々すべての方と関われたと言えるように、そしてそれらの活動を通して、より多くの方に大湊の個性を知ってもらえるよう、これからも活動をしていきたいと考えています。

<特にアピールしたいポイント>

学校現場では地域の学びの向上が目指されています。地域の自然や歴史、文化にふれて地域を楽しみ、更に追究することではじめて地域理解につながることもあります。大湊には多くの自然・歴史資源があります。それらを見出し防災につなげ地域住民に伝えることで、「大湊の誇り」を深化させ次世代につなげることができます。



作成された大湊地域資源マップ(まち歩きマップ)



子供向け大湊避難所マップ(三重大と合同で作成)



大湊のウミガメ産卵地(鷺ヶ浜)



津波避難タワー



ドローンによる大湊空撮